

(様式3-2) 調査研究活動記録票(先進地視察又は現地調査に要する経費)

嬉野市議会議員

田中政司

実施月日	令和5年7月4日		
実施時間	7月4日 13:00~14:35		
調査先	千葉県木更津市・陸上自衛隊木更津駐屯地		
調査所在	千葉県木更津市吾妻地先		
調査の目的	佐賀空港へ配備予定のV-22(オスプレイ)や他航空機(CH47等)の現地調査及び研修		
調査先担当者	第1ヘリコプター団 団長 陸将補 廣瀬敏彦氏 他担当官		
内容・結果等	<p>(目的) 今回、佐賀空港へ自衛隊輸送機V-22(オスプレイ)が配備されることが決定した。大野原演習場を有する嬉野市にとっては、大野原演習場を利用したオスプレイの飛行訓練などが当然想定されるため、その場合の飛行ルートや飛行高度など現段階における状況を把握しておく必要がある。</p> <p>(研修・視察内容) 木更津駐屯地は、敷地面積が210万平方メートルで、隊員約1000名が勤務されており、隊員や物資の運搬を担当する第一ヘリコプター団をはじめ、部隊の航空機約70機が配備されている。今回は駐屯地の指令を務めておられる廣瀬敏彦陸将補を表敬訪問させていただいた後、それぞれの機体を実際に拝見し、担当官より機体の詳細な説明を受けた。</p> <p>①V-22(オスプレイ)・・乗員3名+搭乗者24名、巡航速度は時速465kmで航続距離は約2600km、水陸機動団の団員輸送に重要な役割で災害時の救援や離島などの急患輸送などにおいても利用される。</p> <p>②CH-47・・乗員3名+搭乗者55名で、現在一番大型の輸送機。高機能の車両等も輸送でき、災害派遣や救助活動に威力を発揮している。</p> <p>③EC-225LP・・乗員2名+搭乗者20名の要人輸送ヘリ。天皇陛下や総理、国賓等の輸送に利用されている。</p> <p>(まとめ・感想) 第1ヘリコプター団は、国内の自衛隊の様々な輸送業務を担当する部隊の中心で、佐賀空港に配備されるオスプレイの部隊もこのヘリコプター団の所属になるということであった。今回、地上で待機しているオスプレイの機内には搭乗できたが、実際の飛行はできなかったのが残念であった。</p>		
上記活動に要した経費	経 費 の 内 容	支 払 先	金 額 (円)
	旅費・宿泊費 長崎～羽田 往復航空券 東京1泊	祐徳旅行株式会社	60,930
	交通費		6,110
	合 計		67,040

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること

(様式3-2) 調査研究活動記録票(先進地視察又は現地調査に要する経費)

嬉野市議会議員

田中政司

実施月日	令和5年7月5日		
実施時間	7月5日 10:00~11:00		
調査先	防衛省・防衛整備庁会議室		
調査所在	東京都新宿区市谷本村町5-1		
調査の目的	日本の防衛力についてとオスプレイ配備の意義と大野原演習場への影響について		
調査先担当者	防衛省 整備計画局 防衛計画課長 伊藤 晋哉 氏 防衛省 防衛政策局 運用調整参事官 菊池 哲史 氏 防衛省 地方協力局 西日本協力課 鍋田 克己 氏 他施設計画課職員		
内容・結果等	<p>(研修、意見交換内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防衛省 大臣官房審議官の北尾氏より歓迎の挨拶を受けた。 ・伊藤防衛計画課長より、現在の日本の防衛力の現状や、佐賀空港へのオスプレイ配備の目的などについて説明を受けた。 <p>①国の防衛の必要性・外交によって戦争を未然に防ぐことが最重要。しかし、外交を尽くしても戦争に至ってしまうことがある。他国からの侵略を防ぐ為には、国を確実に守り抜く力をもって「日本を攻めても目標は達成できない」と他国に思わせることが必要である。</p> <p>②陸自オスプレイ(V-22)の必要性・オスプレイは従来の輸送機より巡航速度や航続距離など、はるかに高い能力を有しており、陸上自衛隊相浦駐屯地に配備された水陸起動連隊などを輸送など、島嶼防衛能力を強化するうえで不可欠な装備品である。また、その高い能力は災害活動や離島における急患輸送にも極めて有益である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菊池運用参事官よりオスプレイの佐賀空港配備後の大野原演習場との関係についての説明。 <p>①大野原演習場は有益な演習場である。九州には他にも演習場があるので、現段階でどのような利用がされるのか具体的な事はわからない。利用する場合の飛行ルートについては市街地上空をなるべく避けたルートになりのではと考える。</p> <p>(まとめ・感想)</p> <p>ロシアのウクライナ侵攻や北朝鮮のミサイル発射、中国の軍事力強化など、我が国は戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面していることを、説明をうけ改めて痛感した。そのための国防の意義を再認識させられた。大野原演習場の利用については詳細な利用については現段階での説明は控えられたが、これを機に情報収集をしていかなければと考える。</p>		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	旅費・宿泊費 (長崎~羽田 往復航空券 東京1泊含む)	祐徳旅行株式会社	
	合計		

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること